

歯周病対策

1.背景・課題

歯周病はお口の中だけでなく全身の病気と関係しており、就労世代の歯周病対策の強化が期待されています。当社は2022年～、厚生労働省が推進する「歯周病予防に関する実証事業に係る調査研究」へ参加し、歯周病リスク検査を実施しました。

2.実施策

健康診断と同時に簡易スクリーニング検査を実施しました。

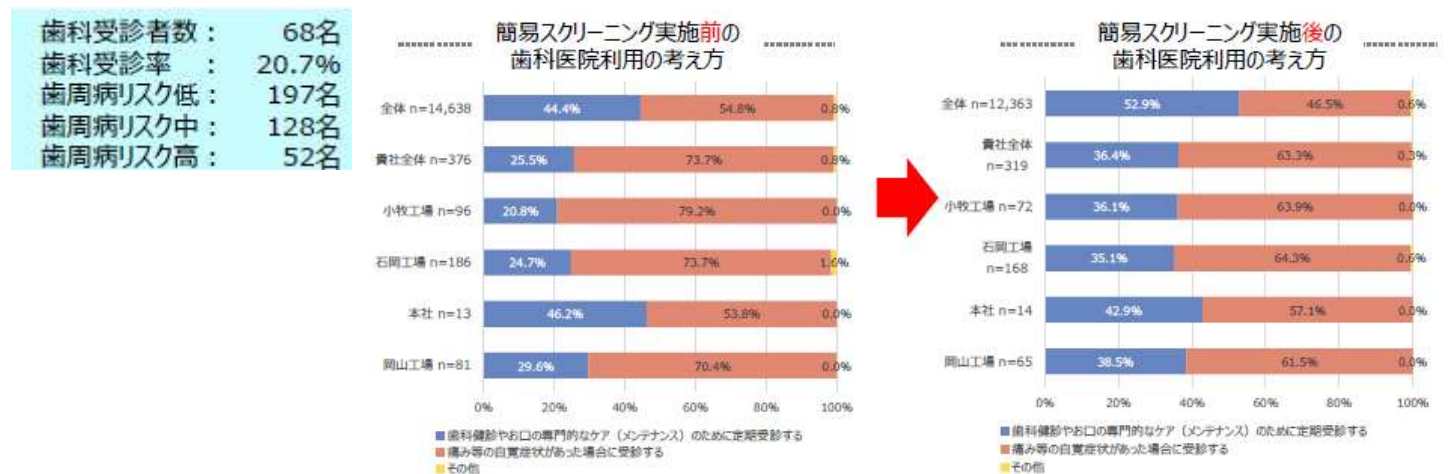
3.施策による効果

事前・事後アンケートを用いて歯周病リスク検査実施前後で歯科口腔保健に関する知識や関心、セルフケア行動や歯科受診行動の変化を評価しました。

2024年度は、対象者508人のうち、409人が参加しました。（参加率：80.5%）

このうち、379人が簡易スクリーニングを実施いたしました。（実施率：92.7%）

「歯科は虫歯や痛みが出てから通うもの」と考える従業員が多く、歯科受診率は依然低い状況が続いています。今後もセルフケアや歯科医院でのプロケアの意義・重要性を継続的に周知し、ヘルスリテラシー向上を図っていきます。



4.従業員の声

歯周病リスク検査や歯科保健指導を受けた従業員からは、「思っているよりも自分の歯が良くない状況で、歯科受診が必要であることが分かって良かった」という声がありました。